

MONTHLY

神變別冊

宗派だより

令和4年10月号



令和四年十月六日発行
発行所 真言宗醍醐派宗務本庁

京都市伏見区
醍醐東大路町二十二
電話〇七五―五七一―〇〇〇二

今月の掲載内容

- ・百五十年の時を超えて
太元帥大法 後拝み 1
- ・録事 宗派だより 2
- ・末寺・教会・醍醐寺だより 2
- ・本庁からのお知らせ 3

太元帥大法を厳修して

壁瀬 宥雅

今上陛下ご即位の太元帥大法厳修の記念として、太元帥護摩次第を記念出版いたします。このお次第は、小御修法の次第で、太元帥法から護摩（息災法）に入るものです。

醍醐寺には、江戸中期から後期にわたり三冊の信頼すべき次第が現存しています。その第一は江戸中期（一七〇〇年前後）の堯観次第で定本となる次第です。ただ残念なことにこのお次第は、四無量観の一部と入護摩直後の一部が失われています。今後欠落部分が発見されるのを待ちたいと思います。完全な形で残っているのは、澄意次第と定隆次第です。そのうち澄意次第は代筆記で奥書のみ澄意さんの自筆です。残るは定隆次第です。堯観次第を忠実に達筆で書写され、秀逸なお次第です。

定隆さんは、上醍醐にあった龍光院を本拠とされ、堯観さんや澄意さんのように太元阿闍梨を勤められたことはありませんが、太元帥法には精通され、口授や太元大法方など多くを残され、太元帥法や理性院流理解の上には欠くことの出来ない存在です。

今般の記念出版の次第は、この定隆本を残されたままの状態です。ただ制作し頒布させていただく予定です。太元帥法や理性院流については近年種智院大学でも伝授されましたが、醍醐寺においても適当な時期に座主猥下にお願ひし、伝授を開筵したく思っています。醍醐三流の一、理性院流や太元帥法が醍醐派の教師の皆様にとって身近なものとなることを期待しています。

百五十年の時を超えて

太元帥大法 後拝み

○期間 令和四年十月十日（月・祝）
十二月四日（日）

○時間 〈午前の部〉午前十時～正午
〈受付終了 午前十一時三十分〉

○特別拝観料 千円（太元帥大法パンフレット付）
※通常の拝観料が別途必要です
〔僧侶のご案内つき〕事前予約制

○時間 午前九時三十分～
午後一時～（所要時間約三十分間）

○特別拝観御供料 三千元

※通常の拝観料が別途必要です

○授与品 太元帥守、御香水、
太元帥大法パンフレット

○お問い合わせ先

ご不明な点などございましたら、醍醐寺 太元帥大法
参拝係までお問い合わせください。

TEL 075-571-0002

録事

▼宗務所移動

七月三日
任肥前宗務所所長

圓壽院
原 峰善

任肥前宗務所副所長
正林寺
守山 育範

任肥前宗務所代議員
安龍院
成鎮寺
照觀寺
堀江 泰賢

感應 光正
浦郷 顕應
堀江 泰賢

▼度牒授与
修驗籍

七月十五日

埼玉

高橋 定慎

▼教師補任
修驗籍

七月十二日

権律師

奈良

上田 光峯

七月十五日

権律師

埼玉

高橋 定慎

▼責任役員任命

六月一日

東京(直)

品川寺

麻生 弘道

八月二日

大阪

歡弘山不動寺

藤澤 寛秀

八月十八日

広島

明光寺

石井 秀将

八月二十六日

広島(直)

光妙院

石井 里恵

井上 洋

石渡 妙徳

石渡 修徳

▼総代委嘱

六月一日
東京(直)

品川寺

庄司 正彦

六月二十九日
大阪

興法寺

天野 光次

八月二日
大阪

歡弘山不動寺

中島 貴久

福岡

善光寺

唐渡 房子

八月十八日
広島

明光寺

石井 秀将

八月二十六日
広島(直)

光妙院

近原 一人

▼承認・証明

八月十日
滋賀(直)

明見院

土地購入承認の件

▼死亡

七月十六日
福岡

権少僧正

中島 慈孝

八月二十九日
高知

権大僧都

上田 寛祥

宗派だより

令和四年度 教学研修会

日程 令和四年八月二十三日(火)

講演内容

午前十時四十分

「理性院流の相承と史料」

講師：日本女子大学教授 藤井 雅子先生

午後一時三十分

「太元帥法の創始とその勤修」

講師：日本女子大学名誉教授 永村 眞 先生

午後三時十五分

「江戸時代における太元帥法の継修」

講師：日本女子大学名誉教授 永村 眞 先生

来山参加者

大塚静弘 服部秀快 木下亮寛 武智宏教

増田浄典 松永眞和 徳野亮孝

Zoom参加者

和氣正真 地山敬胤 谷山光信 荻原隆明

大塚知明 新宅正明 菅野舜仁 山崎義党

神浦芳宏 田村眞悠 西郷俊玄 岩本尚教

佐久間秀紘 丹上妙俊 門馬圭澄 鈴木隆雄

永田宗譽 寺元俊篤 藤生義裕 丸塚龍玄

渡辺准庵 桂島俊峯 西内克修

ヴォルコゴフ慈真 智廣 夏衛娟 石清 康熙満

※敬称略

末寺・教会・醍醐寺だより

万灯会

令和四年八月五日(金)

午後六時 平座理趣三昧法要 道場 伽藍・金堂
午後七時 施餓鬼法要 道場 伽藍・金堂

開山大師 虫除け虫封じ法要

令和四年八月六日(土)

午前十一時 平座理趣三昧法要 道場 上醍醐・開山堂

開山大師法要

令和四年八月六日(土)

午前十一時 伽藍・祖師堂

塔頭 金剛王院一言寺 夏季大祭

令和四年八月十七日(水)

午後七時 柴燈大護摩供

三重・滝谷山不動院本山団参四十五名 柴燈護摩・水霊供養

令和四年八月二十日(土)

午前十時 柴燈護摩・午前十一時 弥勒堂参拝・
正午 昼食白書院

カルティエ記念植樹

令和四年八月十九日(金)

午後三時 霊宝館

カルティエフランス本社社長シシル ヴィニコロ様、カルティエジャパン社長宮地純様、他九名

醍醐寺文書聖教文化庁追加指定調査

令和四年八月二十一日(日) から八月三十日(火) 霊宝館

本庁からのお知らせ

総務部より

宗教法人の寺院・教会は、毎年会計年度終了後四月以内に役員名簿と財産目録の写しを所轄庁(都道府県庁)に提出することとなっております(『宗教法人法』第二十五条第四項)。

この他にも、収支計算書、貸借対照表、境内建物に関する書類、事業に関する書類の写しの提出が必要となる場合があります(詳細は、真言宗醍醐派宗務本庁ホームページ又は、文化庁ホームページ参照)。

宗務本庁では、これらの書類の写しを本庁にも提出いただくことを、宗教法人並びに非宗教法人の寺院・教会にお願い致しております。

文化庁主催による「令和四年度・宗教法人実務研修会」が、九月以降に各地区で開催の予定がされています。詳細は、真言宗醍醐派ホームページをご覧ください。お申し込みは、開催県へお問い合わせください。

財務部より

宗費賦課金をご納入いただきまして、誠に有り難うございます。
まだご納入されていない方は、なるべくお早めにご納入いただきますようお願い申し上げます。

※納入期限は令和五年三月三十一日(水)となります。

僧階昇補などの各種申請や手続きの際には、宗費賦課金の未納金がございますと手続きすることができませんので、事前にご確認ください。

各種お支払いに関するお問い合わせは、宗務本庁財務部までお願い致します。

教学部より

真言宗各派総大本山会 人権推進研修会参加者募集

真言宗醍醐派の教師(本宗・修験)で、人権研修会にご参加いただける方を募集致します。

開催日時…令和四年十一月十日(木) 午後一時から午後四時頃

開催場所…神戸市

モデルコース…近代神戸と生田川―新川部落・賀川豊彦・水平社

参加費…無料

※お問い合わせ、お申し込みは宗務本庁まで。

部落解放研究第五十五回全国集会

開催要項

集会テーマ…全国水平社創立100年の節目の年に人権と平和、民主主義、環境

の確立をめざす協働の取り組みをすすめるとともに、部落解放運動を前進させ、あらゆる差別的撤廃にむけた新たな歩みをすすめる。

日 程…令和四年十一月十五日(火)～十六日(水)

十五日(火) 全体集会 午後一時 開会 / 午後四時 事務連絡・閉会

十六日(水) 分科会 午前十時 開会 / 午後三時三十分 閉会

会場…鳥取県米子市 鳥取県立米子産業体育館 メインアリーナ ほか

〒683-10802 鳥取県米子市東福原8-27-1

TEL 0859-13510611

参加費…おひとり 五千円(参加・資料費)

申込方法…参加ご希望の真言宗醍醐派僧侶・修験道教師の方は、真言宗醍醐派宗務本庁で参加者を集約して「同宗連」事務局へ申し込みいただきますので、十月二十八日(金)までに、宗務本庁までお問い合わせいただき、お申し込みください。

伝法灌頂

令和五年二月七日(火) 開壇

末寺徒弟の伝法灌頂入壇のお問い合わせ、お申し込みは本庁教学部まで。

<p style="text-align: center;">和光印刷株式会社</p> <p>〒602-0012 京都市上京区烏丸通上御霊前上ル TEL (075) 441-5408 FAX (075) 441-4982 E-mail info@wako-print.co.jp</p>	<p style="text-align: center;">杉本権七法衣店</p> <p>〒600-18304 京都市下京区新町通六条下ル TEL (075) 351-2890 FAX (075) 341-6774</p>	<p style="text-align: center;">山城屋文政堂 藤井佐兵衛</p> <p>〒600-18029 京都市下京区寺町通五条上ル TEL (075) 351-9363 FAX (075) 343-5500 http://yamasa-bunseido.com</p>	<p style="text-align: center;">大住法衣店</p> <p>〒604-18274 京都市中京区小川通三条上ル西堂町 TEL (075) 221-3087 FAX (075) 221-3038 E-mail oosumihou@gmail.com</p>
<p style="text-align: center;">大峯山陀羅尼助丸 花谷神変堂</p> <p>〒638-0431 奈良県吉野郡天川村洞川235 TEL (0747) 64-0047 FAX (0747) 64-0070</p>	<p style="text-align: center;">林勘法衣店</p> <p>〒602-0874 京都市上京区河原町丸太町 西筋下ル東土御門町345 TEL (075) 231-2244 FAX (075) 255-6632 E-mail hayashikan@beachocn.ne.jp</p>	<p style="text-align: center;">井筒法衣店</p> <p>〒600-18468 京都市下京区堀川通新花屋町角 (西本願寺前) TEL (075) 365-0001 FAX (075) 353-7021 フジヤル 0120-1075-1730</p>	<p style="text-align: center;">田中伊雅佛具店</p> <p>〒600-18453 京都市下京区万寿寺西洞院東入ル TEL (075) 351-2584 FAX (075) 341-8822 http://www.tanakaiga.com</p>
<p style="text-align: center;">松栄堂</p> <p>〒604-0857 京都市中京区烏丸通二条上ル東側 TEL (075) 212-15590 https://www.shoyeido.co.jp</p>	<p style="text-align: center;">今井半念珠店</p> <p>〒605-10934 京都市東山区大黒町通正面南入 TEL (075) 561-0307 FAX (075) 525-12557</p>	<p style="text-align: center;">上田法衣佛具店</p> <p>〒604-10913 京都市中京区河原町二条西入上ル TEL (075) 221-3348 FAX (075) 211-1858</p>	<p style="text-align: center;">毎月二十九日 国宝・五重大塔御開扉納経法要</p> <p>・午前十時三十分～ ・午後一時三十分～</p> <p>●当日、清流宮拝殿にて写経された方は、五重大塔御開扉法要中(約一時間)に、写経を奉納できます。 『高王十句観音経』写経奉納料 千円 ※なお、別途醍醐寺拝観料が必要です。</p>

醍醐寺売店 今月のおすすめ品

【胡麻だれドレッシング】



内容量／280ml
日持ち／60日以上
特定原材料等／卵、小麦
販売価格／850円(税込)

胡麻の風味を生かし、サラダだけでなくしゃぶしゃぶなどお鍋の付けダレにもお使いいただけます。



お問い合わせ先 三寶院売店
TEL/FAX 075-571-0112

<https://daigoji-ugetsu.raku-uru.jp>

真言宗醍醐派公式ホームページのURLは、
<https://www.daigo.ne.jp/> です。

宗派内ページ(ログインが必要*)では、神変別冊のアーカイブ(過去号)をご覧になれば、必要書類のダウンロードもできますので、ご利用ください。

*宗派内ページへのログインパスワードは、shoubou1145です。